

10月のできごと



高校生と一緒に、平均台を楽しむ子ども

青空のもと、人工芝の上で元気いっぱい

人工芝で遊ぼう

10月4日 富士市立高校

地域交流の一環として、富士市立高校にある安全でやわらかな人工芝で、幼児と高校生がふれあう「人工芝で遊ぼう」が行われました。親子連れ約60組とひな保育園の園児約100人が参加。人工芝の上に平均台やポールプール、フラフープなどが用意されたほか、曲に合わせて体操も楽しみました。会場では、子どもたちに積極的に声をかける高校生の姿が見られました。高校生と幼児は、さまざまな遊びを通して笑顔でふれあい、楽しいひとときを過ごしました。

▲1階に設置されたミーティングスペース
新しい伝法まちづくりセンターの外観▶

地区まちづくり活動の拠点が完成！

伝法まちづくりセンター落成式
10月7日 伝法まちづくりセンター

伝法小学校の西側に隣接する伝法まちづくりセンターが新しく完成し、落成式が行われました。新施設は、太陽光発電設備や地区まちづくりセンターとして初めての授乳室を設けるなど、環境やユニバーサルデザインに配慮してつくられました。また、図書コーナーと一体になった開放的なミーティングスペースを備えています。落成式には地区住民も出席し、皆で新しい施設の誕生を祝いました。



さまざまな作品が飾られた会場で、作品を鑑賞する来場者

丹精込めてつくられた作品を鑑賞

富士市福祉展

10月17～21日 ロゼシアター

福祉への理解や関心を深めてもらうと行われている「富士市福祉展」は、ことしで42回目を迎えました。この福祉展では、福祉施設や福祉団体、特別支援学級などの皆さんが作成した作品を展示しています。会場には、書道や絵画、張り絵など、丹精込めてつくられた数多くの作品が飾られていました。来場者は、色鮮やかな作品や手の込んだ作品を熱心に眺め、鑑賞を楽しみました。